



緩和ケア通信29



がんの検診 がんを早く見つけて早く治そう！

西3階病棟 西村浩子 久行恵美

がん検診について

多くのがんは、早く見つけて、早く治療をすることで治すことができます。しかし、がんは、早い段階では発熱や痛みなど症状が何もないことがほとんどです。そこで、症状が出る前にがんを早く見つける方法が、がん検診です。

がんをそのような早い段階で見つけることで、治療によって治せる可能性が、確実に高くなります。

効果があるがん検診

がんを早く見つけて、死亡率を低くする事が出来るがん検診として胃がん、大腸がん、肺がん、乳がん、子宮がんの検診が行われています。これらのがん検診は、身体に症状がない健康な人が受ける必要があります。

受診がすすめられている検診

がんの種類	すすめられている検診の方法	すすめられている人・時期
胃がん	胃のレントゲン	40歳以上の男女・毎年
大腸がん	便に血が混じっているか調べる	40歳以上の男女・毎年
肺がん	胸のレントゲン 喫煙者は痰も調べる	40歳以上の男女・毎年
乳がん	医師が乳房の状態を目と指で確認したうえで、マンモグラフィで調べる	40歳以上の女性・毎年
子宮がん	子宮の細胞をとって調べる	20歳以上の男女・2年に1回

※できれば、内視鏡、エコーやCT検査などを行った方がいい時もあります。

がん検診は、働いている人の場合、勤務先で実施していることが多いので、そちらを受診します。それができない場合は、住んでいる地域の、保健センターなどで行なわれているがん検診を受診します。このようながん検診は、少ない費用で受けることができます。

生活習慣などに気をつけていても、がんになる危険性はゼロではありません。

面倒がらずに、検診を受けご自分の今、未来を守りましょう！

何かご質問・ご相談等ありましたら、こちらまで



相談窓口：地域医療福祉連携室

電話：0837-22-2518

メール：renkei@nagato-hp.ecnet.jp

担当 宮本、岡山、田村